

2023年11月17日

関係各位

千代田化工建設株式会社
IR・広報・サステナビリティ推進セクション**三菱ガス化学株式会社向け新潟 CCUS ハブ & クラスター構想事業化に関する調査の受注について**

千代田化工建設株式会社(本社:横浜市、会長兼社長:榊田 雅和、以下「当社」)は、三菱ガス化学株式会社(本社:東京都千代田区 代表取締役社長:藤井 政志、以下「MGC」)より、新潟 CCUS^(*)ハブ & クラスター構想事業化に関する調査を受注しましたのでお知らせいたします。

本業務は、石油資源開発株式会社、MGC、東北電力株式会社、北越コーポレーション株式会社ならびに株式会社野村総合研究所の5社(以下、「参加5社」)が、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構(JOGMEC)の令和5年度「先進的 CCS 事業の実施に係る調査」に関する委託調査業務の公募において、共同で受託した東新潟地域における CCS 事業性調査(以下「本調査」)に関連し、MGC より当社が CCUS ハブ & クラスター構想事業化に関する調査を受託し、実施するものです。

本調査は、2023年3月に新潟県が公表した「新潟カーボンニュートラル拠点開発・基盤整備戦略」の対象エリアである東新潟地域において、2030年までの CCS 事業の開始を目指し、既設の化学工場、製紙工場や火力発電所から排出される CO₂ の分離・回収、CO₂ の圧入・貯留地点、およびこれらを結ぶ輸送パイプラインに係るコスト試算を含めた検討を参加5社にて実施するものであり、その内、当社は昨年度に引き続き、MGC が計画する、CO₂ 排出源の一つともなる水蒸気改質法による水素製造装置(以下、「SMR⁽²⁾」)建設に向けた設備検討を実施します。

当社は、国内で製油所向けに建設された大規模 SMR の半数以上の建設実績を有しており、2030年断面に向けての低炭素化における現実的な手法の一つとして、SMR に CO₂ 分離回収装置を付加することで製造されるブルー水素の供給計画に積極的に関与してまいります。

また、当社は総合エンジニアリング会社として、カーボンニュートラル社会の実現に向け、関連する各種検討業務、EPC のみならず、自社での技術開発等、多方面から事業に取り組んでいます。これらの事業を通じて、当社の経営理念である「エネルギーと環境の調和」を目指して、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

以上

注)

*1: Carbon Capture, Utilization and Storage(CO₂ の回収・有効利用・貯留)の略

*2: Steam Methane Reformer の略

この件に関するお問い合わせ先 : IR・広報・サステナビリティ推進セクション 池尻

Email: irpr@chiyodacorp.comURL: <https://www.chiyodacorp.com/jp/contact/index.php>